

## 流域治水の具体的な取組み内容

下記のとおり流域治水の具体的な取組み内容を報告します。

(企業等名称：白石建設工業株式会社)

目的や背景	<p>近年頻発する豪雨災害や河川の氾濫など、気象変動による災害は激甚化していくことが予想されます。</p> <p>河川整備事業に携わる建設会社として災害時の早期復旧への協力などの社会的責任を果たすとともに、水災害に対して対策を講じ備える必要性を感じ、取り組むことにしました。</p>
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"><li>① 非常用電源の確保<ul style="list-style-type: none"><li>・非常用発電機・燃料の確保（1台）</li></ul></li><li>② 水災害に備えた資機材の確保<ul style="list-style-type: none"><li>・土のう袋の常備（土のう40袋）</li><li>・ドローン（被害状況確認用2台）</li></ul></li><li>③ 水災害を含めた企業BCPの策定<ul style="list-style-type: none"><li>・四国建設業BCP等審査会（令和5年9月25日）</li></ul></li><li>④ 防災士の取得<ul style="list-style-type: none"><li>・8名取得（令和6年8月現在）</li></ul></li><li>⑤ 水災害を想定した避難訓練と社内研修の実施<ul style="list-style-type: none"><li>・年2回の総合訓練等の実施</li></ul></li></ul>
取組状況が分かる写真	<p>◆ 非常用電源の確保</p> 

◆ 水災害に備えた資機材の確保



左：ドローン

右：非常用資材（大型土のう 20 袋、普通土のう 20 袋）

◆ 水災害を含めた企業 BCP の策定

認定番号 R5-1-32

## 認定証

白石建設工業 株式会社  
代表取締役 白石 尚寛 殿

四国建設業BCP等審査会において、  
貴社の災害時の事業継続力を審査した結果、  
審査基準に適合していることを認定  
します。

認定証の有効期間は、認定日から令和  
7年9月30日までとします。

認定日：令和5年9月25日

四国建設業BCP等審査会  
会長 白木 渡



◆ 水災害を想定した避難訓練と社内研修の実施

- ・夜間に豪雨災害が発生したと想定しての社員寮での支部設置訓練

令和5年5月18日(木)



その他

近年聞くようになった線状降水帯やゲリラ豪雨など、水災害はいつ発生してもおかしくないような身近な災害となってしまっています。  
地域防災の担い手として、BCPの策定や防災士の資格取得、社員の治水対策への意識の向上などに努めていきたいと思っております。